

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                         |    |          |
|----------------|-------------------------|----|----------|
| ○事業所名          | ガンバ村スペシャルキッズ            |    |          |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年12月1日 ～ 2026年1月31日 |    |          |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 12 | (回答者数) 7 |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年1月10日 ～ 2026年1月15日 |    |          |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 5  | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年1月31日              |    |          |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                                            | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                              | さらに充実を図るための取組等                                 |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1 | 定期的に利用児童1人1人の活動メニューを見直し、職員全員が問題意識をもって検討している。活動内容のバリエーションを増やし、利用児童1人1人が自主的に取り組めるように活動しています。            | 個別活動及び集団活動に対して、内容を共有するのはもちろん、1か月に1度内容を見直している。常に利用児の意欲的な気持ちに着目し、活動の内容を変えており、個別支援計画に反映させている。         | 同年齢だけの活動ではなく、異年齢の活動も計画しさらに活動の幅を広げていきたい。        |
| 2 | 多機能型事業所として、放デイとの交流の機会を設定し、小学校生活やお兄さん、お姉さんになることへのイメージをつきやすい環境を作ることができる。                                | 長期休みや振り替え休日などには、小学生と一緒に活動できる機会を設定している。職員がすべてを指示しなくても、お兄さん、お姉さんが自然と未就学児に関わり、相互作用できる環境をつくっている。       | 長期休みや振り替え休日の他、土曜日の開所時にも異年齢の関わりを増やす企画を増やしていきたい。 |
| 3 | 同一敷地内の他事業所の利用者及び職員との交流を通し、積極的なコミュニケーションを図れる環境にある。これらを活かし、基本的なコミュニケーションスキルの修得や、実行力を実践的に身につける機会を提供している。 | コミュニケーションを図る相手が固定しないよう、またどのようなことで他事業所に行くのかパターン化しないよう、バリエーションを複数用意し、様々なシチュエーションで他者との関わりを持てるようにしている。 | 利用児自ら役割をもって、他者との関わりを機会がもてるよう、意識づけを強化していきたい。    |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること        | 事業所として考えている課題の要因等                                | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                        |
|---|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1 | 地域サービス（保健、医療など各種関係機関）との繋がりが薄い。                    | これまで対象児童がいなかったため、保健や医療などのサービスとの繋がりを求められることがなかった。 | 地域にどのようなサービスがあり、必要となった際はすぐに連携できるよう、情報収集が必要。 |
| 2 | 食物アレルギーなど個別対応が必要なケースがないため、ご家庭及び医療機関との連携が確立されていない。 | 対象児童の不在で、喫緊に感じる課題ではなかった。                         | あらゆるケースを想定し、どのような連携が必要か情報収集とともに、方法を検討する。    |
| 3 |                                                   |                                                  |                                             |